

## 事業計画書

事業名	親子で木もれびサロン	
重点テーマへの該当	有 <small>テーマを記載</small>	未就園児や保護者の居場所をつくる取り組み
	無	
実施箇所	佐久市 白田 健康活動サポートセンター うすだ健康館	
実施期間	事業開始予定年月日	令和2年 4月 1日
	事業終了予定年月日	令和3年 3月 31日
事業概要	<事業の目的> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々育児に追われるお母さんたちの憩いの場づくり</li> <li>・未就園児のお母さんたちを対象に友達づくりや悩みの共有ができる場づくり</li> <li>・親子で様々な体験をすることで、日頃のストレス解消となる</li> </ul>	
	<事業の内容> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーマッサージ</li> <li>・ベビーサイン</li> <li>・絵本についての勉強会</li> <li>・食育講座</li> <li>・ママの体のセルフケア</li> <li>・英語でハロウィンパーティー</li> <li>・クリスマス会</li> <li>・和ヨガ</li> <li>・リトミックあそび</li> <li>・スマホでベビー写真</li> <li>・パステル画教室</li> </ul> <div style="float: right; text-align: right;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回サロンをうすだ健康館で開催する</li> <li>・対象は未就園児親子 定員は概ね 15組</li> <li>・チラシやSNSで周知する</li> </ul>                     他                 </div>	
	<達成目標> 講師の先生方も、佐久市近郊で子育てしながら活動している方に依頼することで、この活動のみならず今後もサークルなどに参加し、活動の和、友人づくりを広げるきっかけの場となるようにする。	
	<広報表示の方法（佐久市まちづくり活動支援金事業である旨の表示）> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したチラシに表示</li> </ul>	
	<重点テーマに該当する場合 該当する理由（アピール）> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の地域から移住してきた方も含め、孤立化しやすい未就園児のお母さん方に、人と関わる為のきっかけの場づくり</li> <li>・子育てを楽しくできるようにする為のきっかけの場づくり</li> </ul>	

年間計画	4月	4月23日（木） うすだ健康館 活動①
	5月	5月21日（木） // 活動②
	6月	6月18日（木） // 活動③
	7月	7月16日（木） // 活動④
	8月	8月20日（木） // 活動⑤
	9月	9月17日（木） // 活動⑥
	10月	10月22日（木） // 活動⑦
	11月	11月19日（木） // 活動⑧
	12月	12月24日（木） // 活動⑨
	1月	1月21日（木） // 活動⑩
	2月	2月18日（木） // 活動11
	3月	3月18日（木） // 活動12

特記事項	地域や社会にどのような利益がもたらされるか	<p>&lt;「公益性」の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外から移住してきた親にとっても、この活動を通して、友達をつくるきっかけの場となり、より佐久での活動の和が広がる。</li> <li>・佐久市が子育てママにとって、住みやすい地域になることのお手伝い。</li> </ul>
	どのような点に独自性や工夫があるか	<p>&lt;「発想の豊かさ」や「創意工夫」の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月親子で楽しめる、様々な内容を取り入れていく。</li> <li>・講師の先生も、佐久市近郊で活躍する先輩ママにお願いすることで、お母さんたちに良き刺激を与えるきっかけになる。</li> <li>・友達づくりのきっかけになるよう、講座半分に交流会を設け、悩み事を話したりする場にする。</li> </ul>
	市内へどのように取組が波及していくが見込まれるか	<p>&lt;「波及効果」や「発展性」の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座参加後も、講師の先生の元へ通うことが可能なので、より活動を深めることができる。</li> <li>・商店街への参加介入も入れることで、町の発展性にも繋げる。 (例としてハロウィンパーティーでは商店街にお菓子を貰いに周る。)</li> </ul>
	活動を継続するためにどう取り組むか	<p>&lt;「自立性」の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で木もれびサロンを体験した後、子供の就園後はスタッフ側となり、活動を盛り上げてくれる人材を育てていきたい。</li> <li>・木もれびサロンの需要性が高くなることで、市の活動の一環とさせていただけるようになりたい。</li> </ul>
	翌年度以降の活動内容概要	<p>子育てママたちのニーズを反映しながら、継続していく。</p>
事業の最終目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児の不安解消、心の安定。</li> <li>・人と人との繋がり構築。</li> <li>・地域の安定性、イキイキ子育て。</li> <li>・子供たちがすくすくと成長していく過程をスタッフや仲間、みんなで共感しながら見守る。</li> </ul>	